

第38回 とくしま川づくり委員会

－吉野川水系新町川圏域河川整備計画（指定区間）の点検報告について－

－二級河川海部川水系河川整備計画の点検報告について－

令和7年3月14日
徳島県

第38回 とくしま川づくり委員会

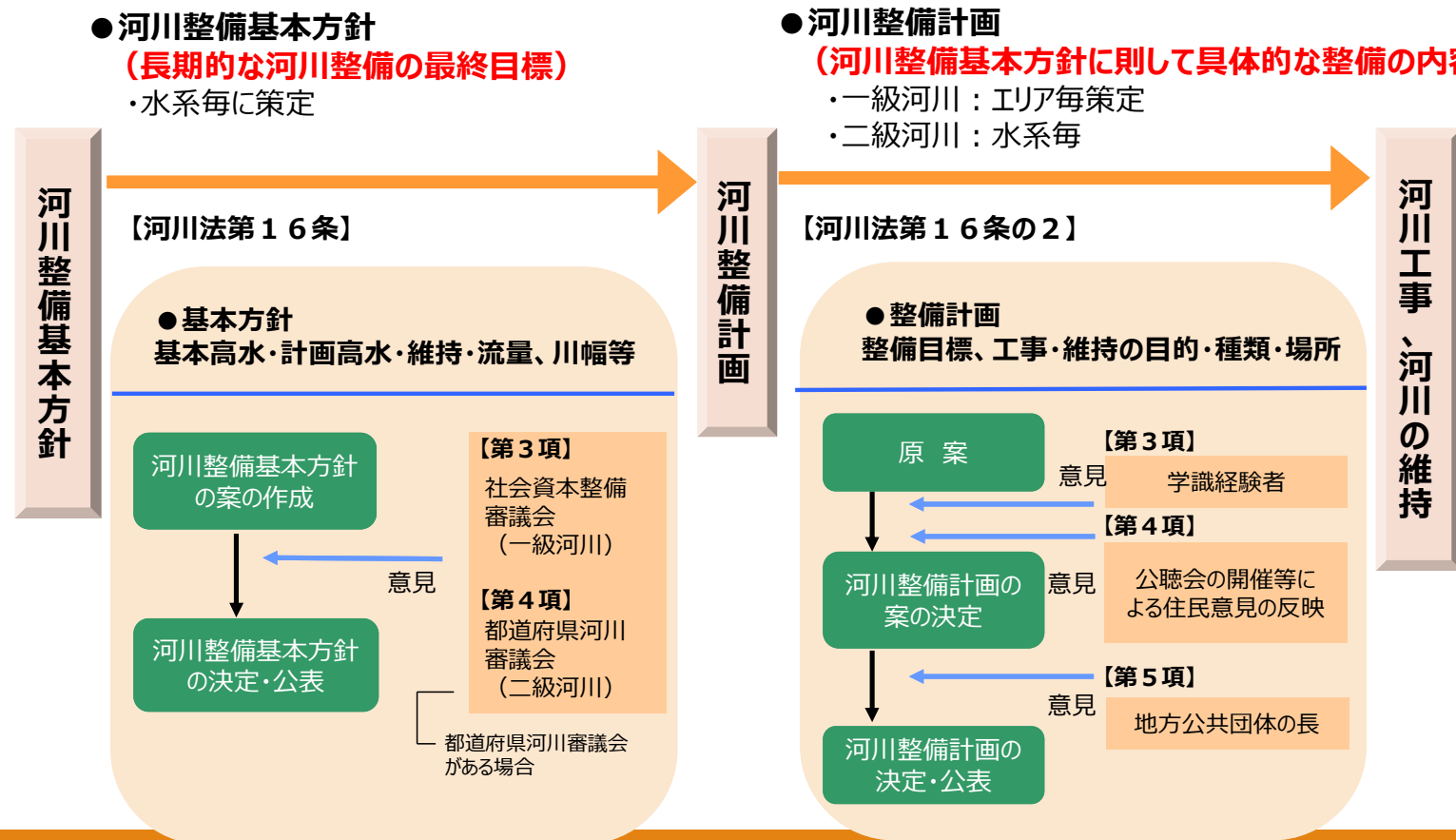
目 次

- 1) 河川整備基本方針・河川整備計画
河川整備計画の点検及び変更の位置づけ・流れ
- 2) 「吉野川水系新町川圏域河川整備計画（指定区間）」及び
「二級河川海部川水系河川整備計画」の点検報告
 1. 流域の概要
 2. 近年の洪水等による災害の発生の状況
 3. 事業の進捗状況
 - 3.1 河川整備計画の主なメニュー
 - 3.2 主なメニューの進捗状況等
 4. 河川整備に関する新たな視点
 - 4.1 流域治水の実践と深化
 5. 河川整備計画の点検結果
 - 5.1 実施した整備内容
 - 5.2 今後の進め方



河川整備基本方針・河川整備計画

平成9年の河川法改正時に「河川の整備計画制度の見直し」があり、河川整備に関する事項は、河川管理者が**河川整備基本方針(長期)**と**河川整備計画(20～30年)**を定めています。



河川整備計画の点検及び変更の位置づけ

○河川整備計画は、当面の「具体的な河川整備」に関する事項を定めたものであり、

①流域の社会情勢の変化（人口・土地利用・災害）、②地域の意向（要望）、

③事業の進捗状況（事業完了箇所）、④河川整備に関する新たな視点（施設の能力を超える災害）

等を適切に反映できるよう、適宜、その内容について「点検」を行うものとしています。

【新町川圏域】H27.12策定

3-2 河川整備計画の対象期間

計画策定年度から概ね「15年間」とする。

3-3 河川整備計画の見直し

計画の対象区間及び対象期間は、現時点の流域の社会状況、自然状況、河道状況等を踏まえ策定したものである。今後は、これらの状況変化や新たな知見・技術の進歩等により、河川整備の変更の必要性が生じた場合、適宜、見直しを行う。

【海部川】H27.12策定、R3.4変更

3-2 河川整備計画の対象期間

計画策定年度から概ね「20年間」とする。

3-3 河川整備計画の見直し

計画の対象区間及び対象期間は、現時点の流域の社会状況、自然状況、河道状況等を踏まえ策定したものである。今後は、これらの状況変化や新たな知見・技術の進歩等により、河川整備の変更の必要性が生じた場合、適宜、見直しを行う。

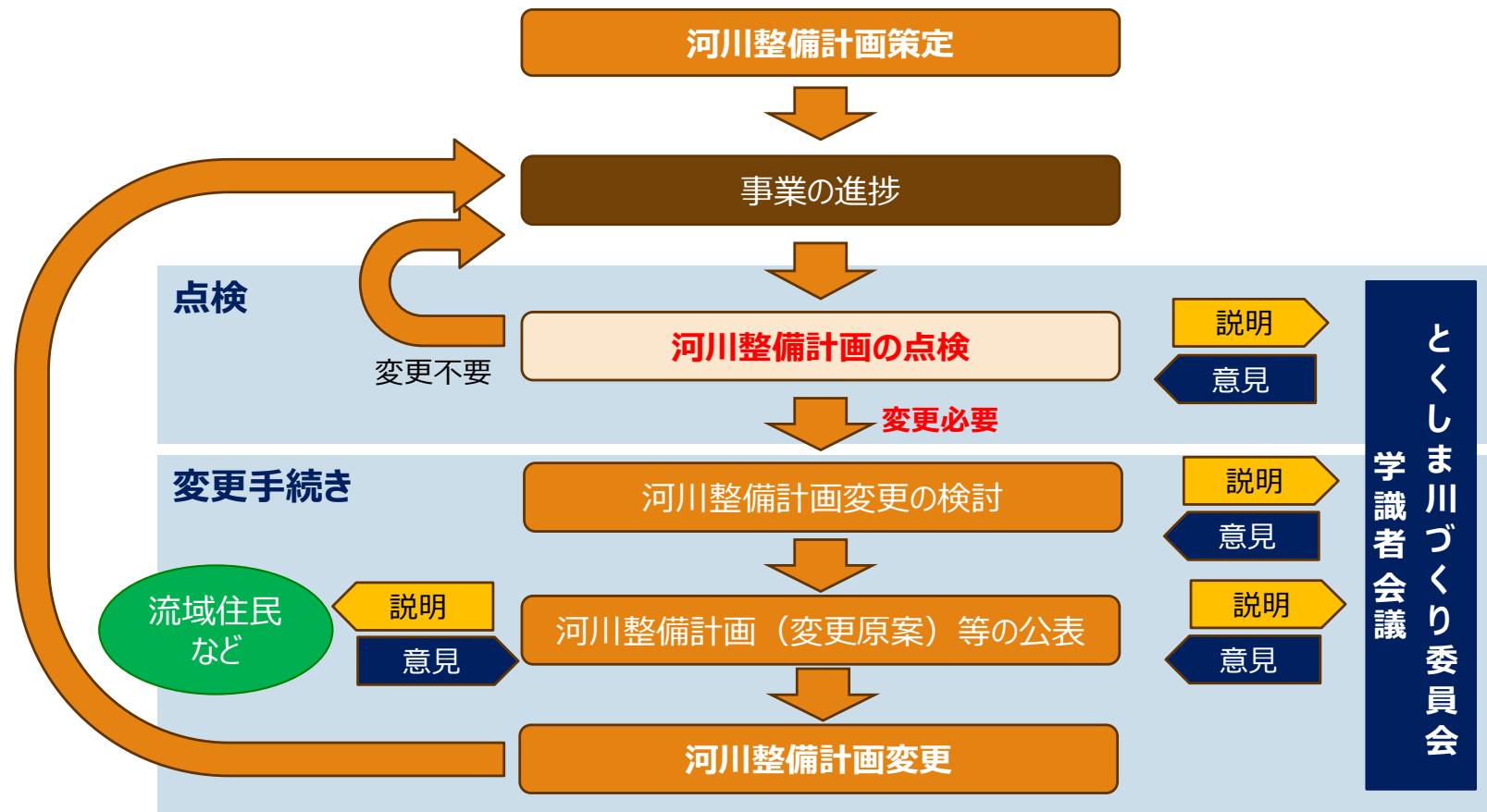
特に、気候変動による洪水流量の増加や高潮による潮位・海面水位の上昇等が懸念されることから、必要に応じて見直す。

見直しの必要性も含め、定期的に進捗を確認するため、河川整備計画の「点検」を実施

必要に応じて河川整備計画を「変更」

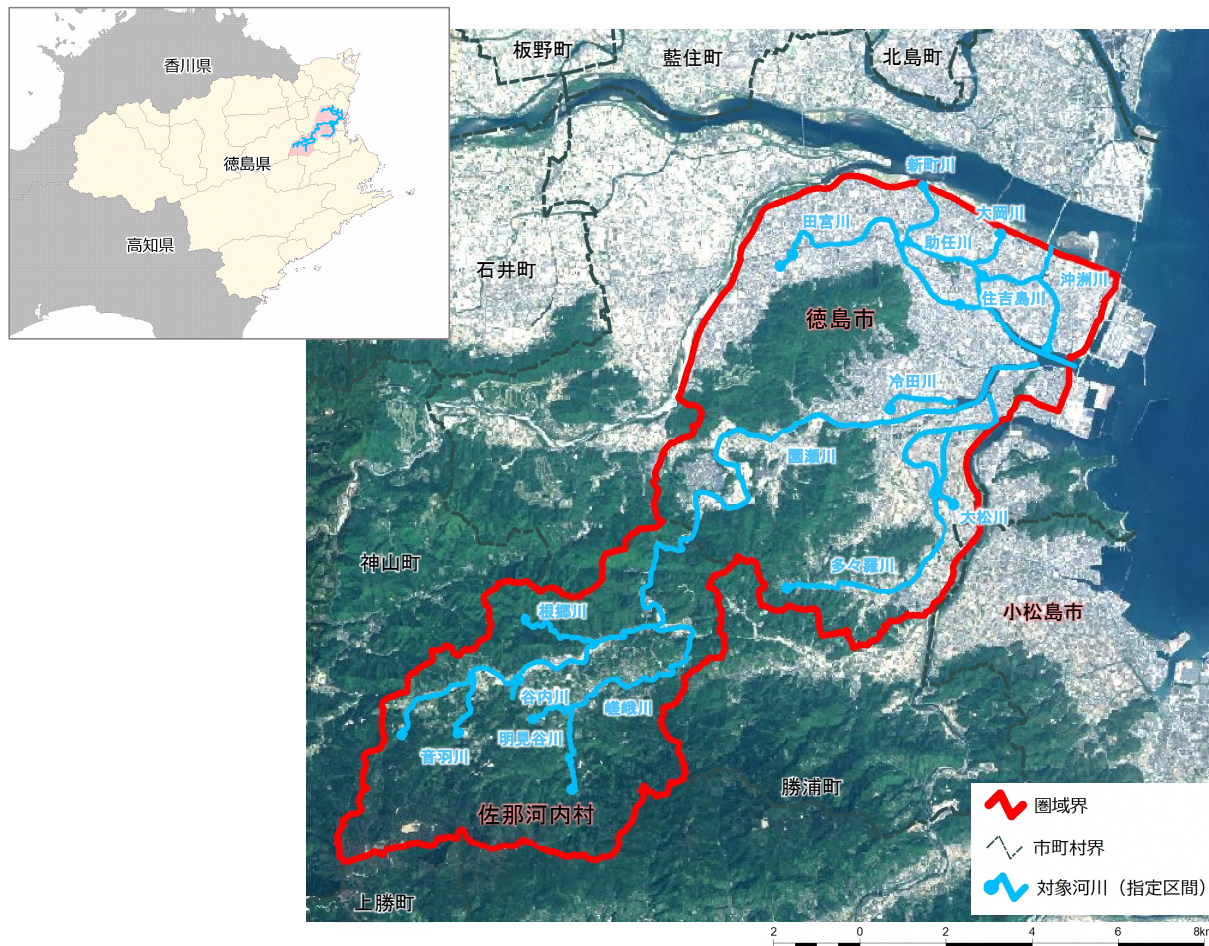
河川整備計画の点検及び変更の流れ

点検の結果、河川整備計画の変更が必要となった場合、変更の手続きへと進めます。



－吉野川水系新町川圏域河川整備計画（指定区間）の
点検報告について－

1. 流域の概要



吉野川水系新町川圏域河川整備計画 平成27年3月策定

圏域内の河川 : 15河川
総流域面積 : 110km²
流路延長 : 69.4km
流域内市町村 : 徳島市、小松島市、佐那河内村
流域内人口 : 約19万4千人
年平均雨量 : 約1,600mm
流域の主な産業 : 卸売・小売業（徳島市）
農業（佐那河内村）



2. 近年の洪水等による災害の発生の状況

新町川圏域の浸水被害

	水害区域面積	被災家屋棟数
平成26年8月10日洪水 台風第11号	618.6ha	床下浸水19戸 床上浸水 8戸
平成28年9月20日洪水 台風第16号	425.7ha	床下浸水14戸 床上浸水12戸

※ 徳島県にて作成の痕跡マップより集計。ただし、平成28年9月20日洪水の新町川を
起因とする浸水被害については水害統計によるものを採用。

洪水状況



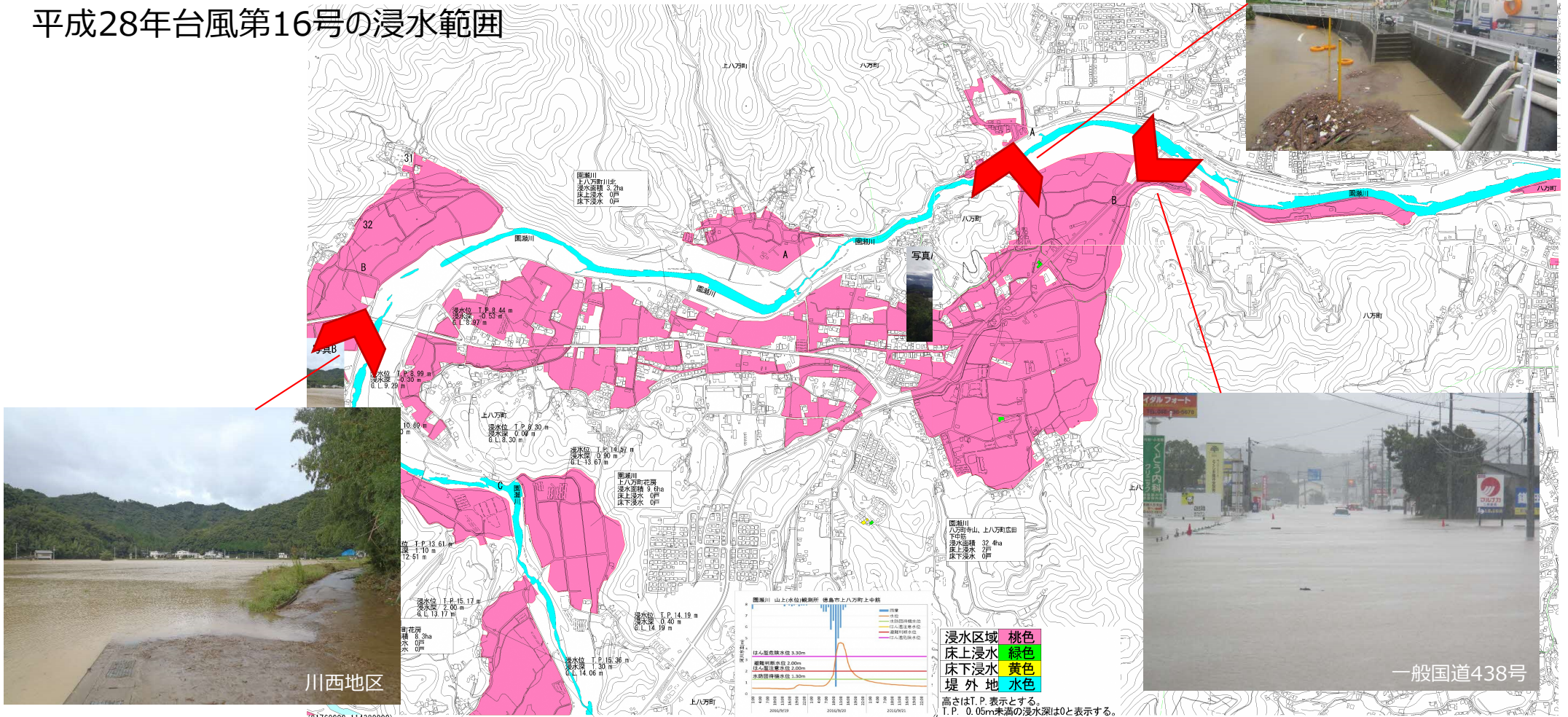
新町川圏域の洪水被害

洪水 年月	降雨要因 (水害統計)	河川名	郡・市村名	水害実績				
				水害区域 面積 (ha)	被害屋敷数 (棟)			
					全壊流出	半壊・ 床上浸水	床上浸水	計
S25.9 ^{*注1)}	ジェーン台風		徳島市 名東郡	-	14 19	2,444 401	18,958 1,090	21,416 1,510
S36.9	第二室戸台風	新町川, 助任川, 沖洲川, 田宮川, 園瀬川	徳島市	2,484	91	12,168	9,270	21,529
S40.9	台風第23、24号	新町川, 助任川, 田宮川, 園瀬川, 大松川, 冷田川, 嵯峨川, 音羽川	徳島市 佐那河内村	1,144	0	521	9,717	10,238
S43.7	台風第4号	新町川, 大岡川, 沖洲川, 園瀬川, 冷田川, 嵯峨川, 音羽川	徳島市 佐那河内村	124	0	8	662	670
S43.9	第3宮古島台風	住吉島川, 田宮川, 沖洲川, 園瀬川, 多々羅川, 冷田川, 嵯峨川	徳島市 佐那河内村	303	0	206	2,533	2,739
S46.8~9	台風第23、25、26号及び 秋雨前線豪雨	新町川, 大岡川, 田宮川, 沖洲川, 園瀬川, 多々羅川, 嵯峨川, 明見谷川, 根郷川, 音羽川, その他普通河川	徳島市 佐那河内村	111	0	24	925	949
S47.6~7	断続した梅雨並びに 台風第6、7号及び台風第9号	助任川, 住吉島川, 田宮川, 沖洲川, 園瀬川, 冷田川	徳島市 佐那河内村	502	0	133	1,049	1,182
S47.9	豪雨及び台風第20号	新町川, 助任川, 大岡川, 住吉島川, 田宮川, 沖洲川, 園瀬川, 多々羅川, 冷田川, 嵯峨川, 明見谷川, 根郷川	徳島市 佐那河内村	850	0	868	2,488	3,356
S49.7	台風第8号及び豪雨	新町川, 田宮川, 沖洲川, 園瀬川, 大松川, 多々羅川, 冷田川, 嵯峨川, 明見谷川, 音羽川, その他普通河川	徳島市 佐那河内村	726	0	200	4,877	5,077
S49.8~9	台風第14、16、18号	田宮川, 沖洲川, 園瀬川, 大松川, 嵯峨川, 明見谷川, 根郷川, 谷内川, 音羽川, その他普通河川	徳島市 佐那河内村	678	0	448	1,924	2,372
S50.8	台風第17号と豪雨	新町川, 田宮川, 沖洲川, 園瀬川, 多々羅川, 冷田川, 嵯峨川, 明見谷川, 根郷川, 谷内川, 音羽川, その他普通河川	徳島市 佐那河内村	347	0	98	1,553	1,651
S51.9	台風第17号と豪雨	新町川, 助任川, 大岡川, 住吉島川, 田宮川, 園瀬川, 多々羅川, 冷田川, 嵯峨川, 明見谷川, 根郷川, 谷内川, 音羽川, その他普通河川	徳島市 佐那河内村	890	0	381	2,504	2,885
S54.9~10	台風第16号と豪雨	新町川, 助任川, 田宮川, 沖洲川, 園瀬川, 多々羅川, 嵯峨川, 明見谷川, 根郷川, 谷内川, 音羽川, その他普通河川	徳島市 佐那河内村	140	0	63	1,564	1,627
S54.10	台風第20号	新町川, 多々羅川, その他普通河川	徳島市	178	0	65	3,550	3,615
H2.9	台風19号	新町川, 園瀬川, 多々羅川, 明見谷川, 根郷川, 音羽川	徳島市 佐那河内村	138	0	1	11	12
H16.10	台風23号	沖洲川, 新町川, 大岡川, 住吉島川, 田宮川, 園瀬川, 大松川, 多々羅川, 冷田川	徳島市 佐那河内村	857	0	376	285	661
H21.8	台風9号	新町川, 園瀬川, その他普通河川	徳島市 佐那河内村	1	0	23	16	39
H23.9	台風15号及び豪雨	新町川, 園瀬川, その他普通河川	徳島市 佐那河内村	91	0	66	218	284

2. 近年の洪水等による災害の発生状況（園瀬川）

長谷地区では排水ポンプ車による排水が行われました。

平成28年台風第16号の浸水範囲



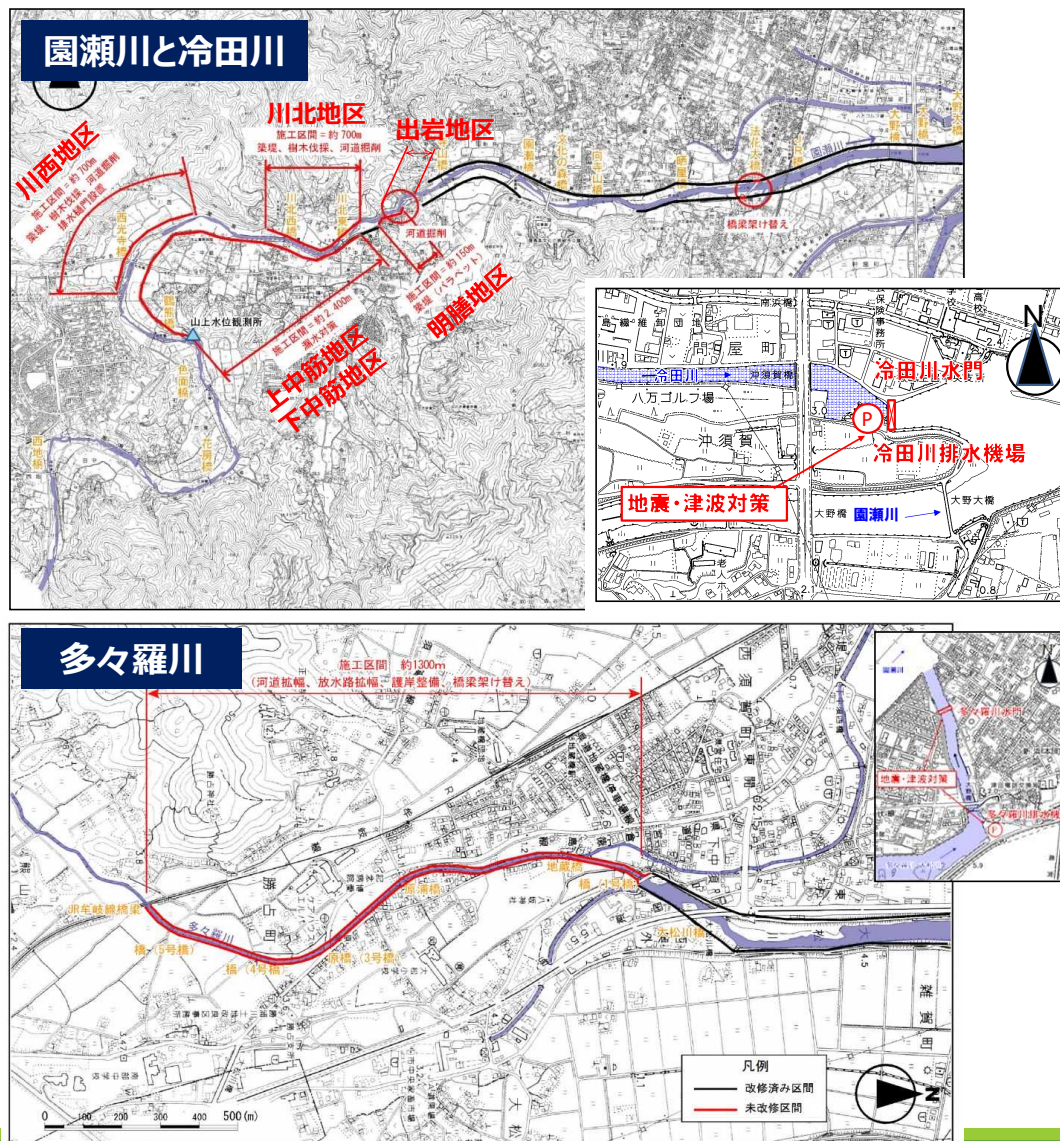
3. 事業の進捗状況

3.1 河川整備計画の主なメニュー

◆河川工事の種類及び施行の場所

河川名	実施区間	実施延長	実施内容
園瀬川	寺山～ 山上水位観測所地点	左岸：約1,400m 右岸：約2,550m	堤防整備、排水樋門設置、護岸整備、 河道掘削・樹木伐採、橋梁架け替え、 漏水対策等
多々羅川 (大松川)	橋(1号橋)付近～ J R牟岐線橋梁直下地点	左岸：約1,300m 右岸：約1,300m	河道拡幅、護岸整備、放水路拡幅 (多々羅川から大松川への放水路)、 橋梁架け替え等
	多々羅川水門 多々羅川排水機場	—	水門・排水機場等の地震・津波対策
冷田川	冷田川水門	—	水門・排水機場等の地震・津波対策
	冷田川排水機場	—	
新町川外 (津波が遡上する支川を含む)	河口～津波遡上範囲	※7	地震・津波対策

※7 実施延長については、今後、調査・検討を行い、決定する。



3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等（園瀬川）

出岩地区

事業の概要

出岩区間は、狭窄部となっており、上流へのせき上げや明善地区への影響などに対応するため、掘削や護岸の嵩上げを計画しています。

実施と達成

出岩の掘削及び護岸整備を実施しました。

今後の予定

明善地区の護岸や陸間整備を実施します。



川北地区

事業の概要

川北地区は、無堤部となっており、氾濫を防止するため、堤防整備と河道掘削・樹木伐採を計画しています。

実施と達成

H21～H26で堤防整備が完成しました。
内水排除のため排水機場が徳島市によってH26完成しました。



3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等（園瀬川）

川西地区・上中筋地区

事業の概要

川西地区は、無堤部となっており、氾濫を防止するため、堤防整備と河道掘削・樹木伐採を計画しています。

上中筋地区は、漏水が発生しており、氾濫を防止するため、堤防強化を計画しています。



実施と達成

川西地区の上流部（西光寺橋上流）では築堤・護岸が完成し、令和3年度より下流部で築堤・護岸工事を施工中です。

上中筋地区では、漏水対策としてブランクット工法が採用され、整備が完成しています。



今後の予定

川西地区の下流部の築堤・護岸工事を実施します。
徳島市による川西排水機場の整備が計画されています。

3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等（園瀬川）

河道掘削・樹木伐採

事業の概要

洪水を安全に流すため、河道掘削及び樹木伐採等を行います。



今後の予定

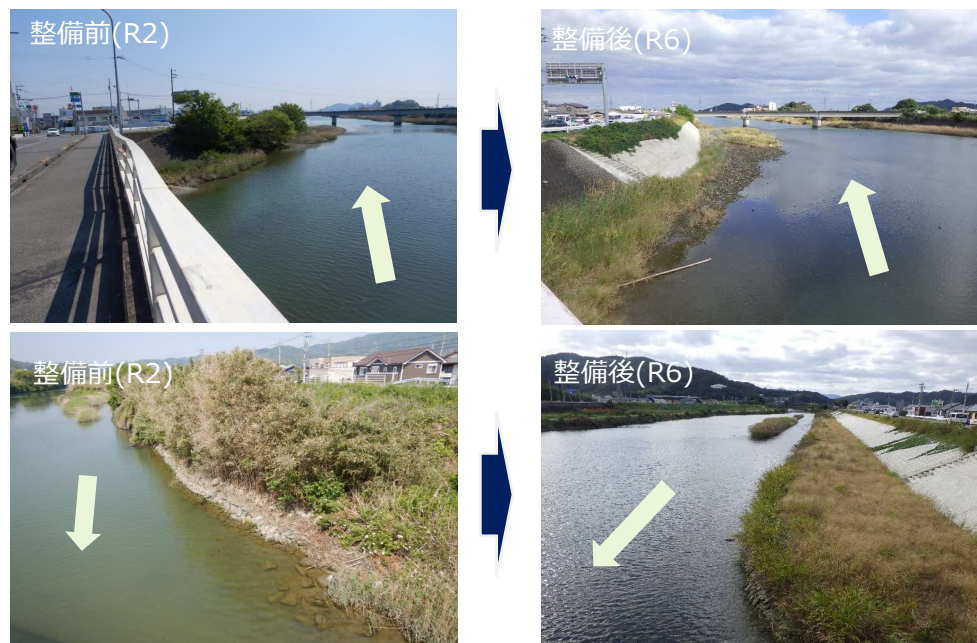
必要な流下断面の確保及び向上を目指し、引き続き、必要な対策を実施します。

護岸整備

事業の概要

洪水を安全に流すため、護岸を整備します。

＜法花大橋左岸（上下流）＞



今後の予定

河川堤防や施設が必要な機能を確認するため、引き続き必要な対策を実施します。

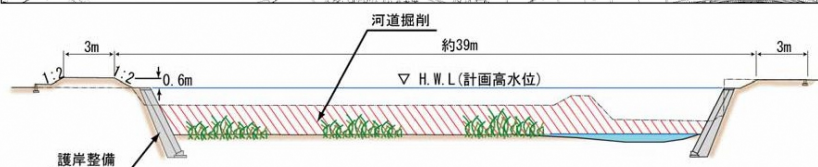
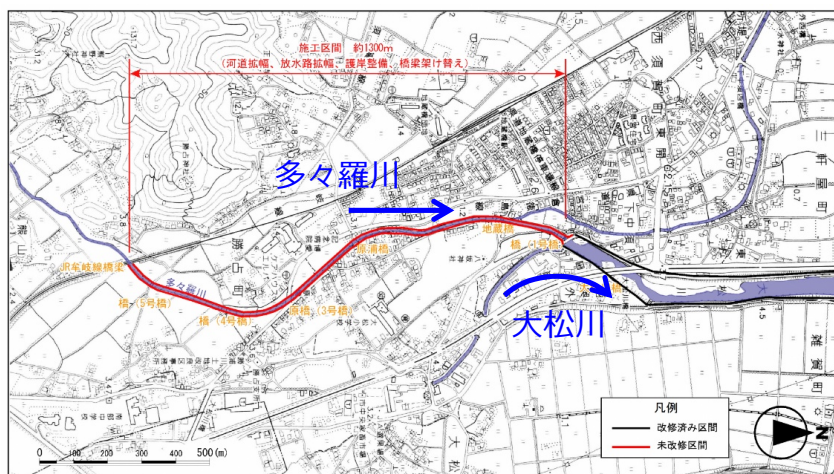
3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等（多々羅川）

河川改修

事業の概要

多々羅川は、河道が狭小で浸水被害が度々生じており、河道の拡幅、護岸整備を計画しています。



実施と達成

橋梁の架け替え、固定堰を可動堰へ改築、地蔵橋までの約180mの河道拡幅を実施しています。



新しい可動堰を建造中。橋梁は旧のもの。
仮橋が上流側に整備した後、旧橋とほぼ同じ場所に新橋を架橋。



今後の予定

未改修区間の河道拡幅・護岸整備を実施します。

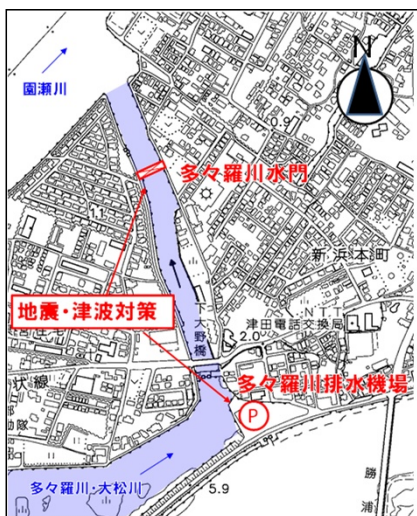
3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等（多々羅川）

多々羅川水門の耐震対策

事業の概要

水門及び排水機場などの構造物について耐震対策を計画しています。



実施と達成

防潮水門である多々羅川水門では、耐震性能調査を実施し、躯体と扉体を対象に耐震化対策を実施しました。



横桁補強（ステンレス板）の施行(R7)



せん断補強鉄筋
（右岸堰柱・門柱基部4本）の施行(R7)

今後の予定

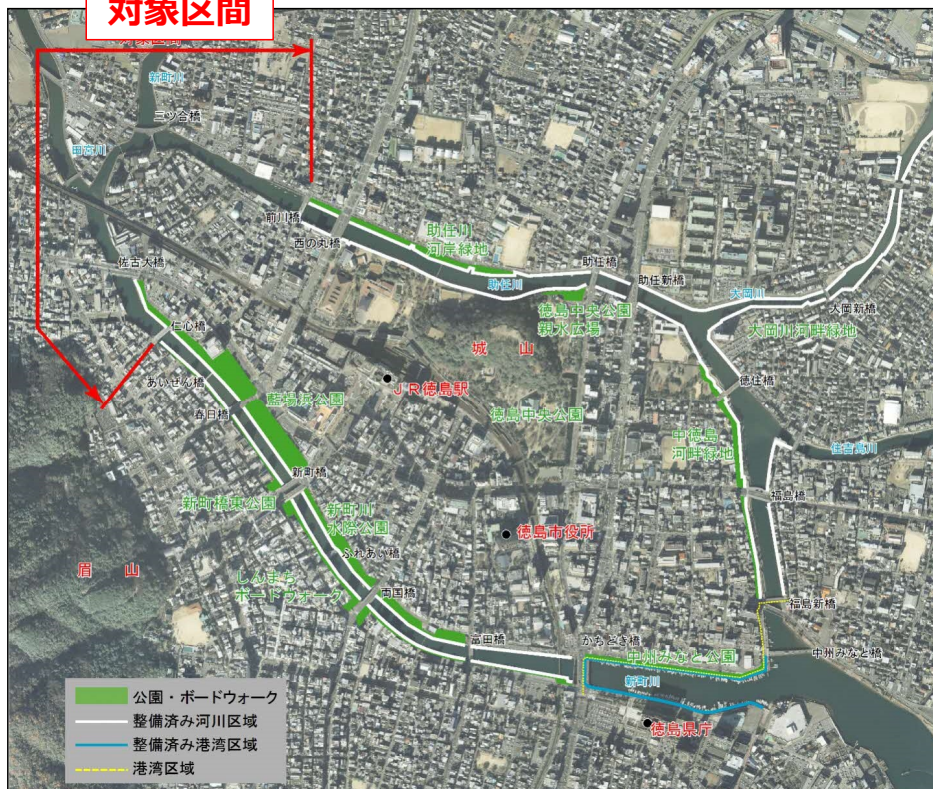
現時点で、必要な堤防の耐震対策は完了しています。
今後は、調査や研究を踏まえ、必要に応じて対策を実施します。

3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等（新町川）

環境整備

対象区間



事業の概要

新町川と助任川に囲まれた「ひょうたん島」周辺では、徳島市やNPO法人等によるイベントを開催している。これらの活動を支援するため、青石による修景護岸等の整備を計画しています。



整備前(R1)



整備後(R7)

実施と達成

新町川の右岸約400mを対象に、青石による修景護岸を整備しています。

今後の予定

引き続き、未修景区間の修景（青石）を実施します。
また、関係機関と連携し、一体的な利活用に向け調査等を進めます。

3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等

維持管理

事業の概要

堤防や護岸については、洪水、津波、高潮時にその機能が発揮されるように、洗堀、護岸の亀裂といった施設の損傷や劣化等の変状が確認された場合は、必要に応じて補修等の対策を行います。

排水機場や樋門など河川管理施設については、長寿命化計画に基づき、計画的に修繕します。

実施と達成

河川管理施設の機能を確保するため、護岸修繕、樋門自動化、排水機場の修繕などを実施しています。

<護岸の修繕>



<樋門の無動力化>



<排水機場の長寿命化>



今後の予定

あらゆる災害を対象に、河川管理施設の機能が確保できる対策を実施します。

3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等

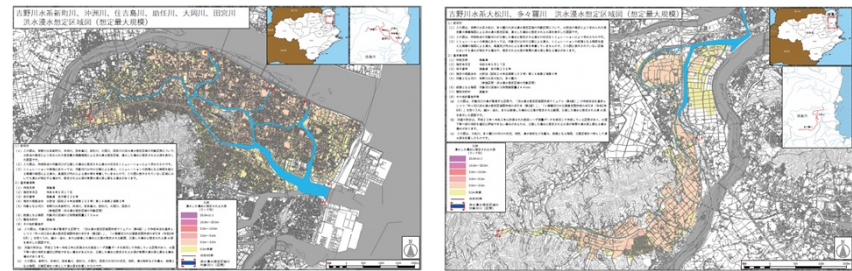
施設能力を超える洪水等への対応

事業の概要

洪水、津波、高潮等による被害の軽減を図るため、防災情報の充実、防災意識の啓発、ハザードマップ作製の支援を行うなどして、緊急時に円滑な水防活動、住民の安全な避難行動が行えるようにします。

実施と達成

<水害リスク情報空白域の解消>



<住民目線に立った情報発信>

徳島県公式LINEによるPUSH型配信



<防災出前講座の実施>

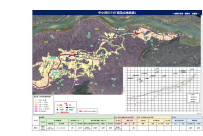


<住民への周知・啓発>



<水災害に関する減災会議>

避難情報を発信する市町村とあらかじめ「避難判断」に関する「防災情報」を互いに共有



今後の予定

流域全体の関係者が協力し合い、浸水被害の軽減を図るための流域治水を推進していきます。

4. 河川整備に関する新たな視点

4.1 流域治水の実践と深化

- 近年の水災害による甚大な被害を受けて、**施設能力を超過する洪水が発生することを前提**に、社会全体で洪水に備える水防災意識社会の再構築を一步進め、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う、**流域治水への転換を推進**し、防災・減災が主流となる社会を目指しています。
- 新町川圏域においても、流域治水を推進するため、関係者による流域治水協議会（吉野川）を設立し、**令和3年3月に流域治水プロジェクト**を取りまとめております。
- 気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取り組みを「加速化・深化」に必要な取り組みを反映していく必要があります。
- 特に**園瀬川**においては、整備計画に示す主な**整備メニューの完了**が近づいている中で、**上流域における河川改修が期待**されています。今後、気候変動に対応した、流域全体で水害の軽減を図る「流域治水」の考えを盛り込んだ**河川整備計画の変更に向けた検討**を行う必要があります。

5. 河川整備計画の点検結果

5.1 実施した整備内容

●治水に関する事項

【園瀬川】

- ・「川北地区」の堤防整備、樹木伐採、河道掘削が「完了」
- ・「川西地区」の堤防整備、樹木伐採、河道掘削を「実施中」
- ・「出岩地区・左岸側」の護岸整備と河道掘削が「完了」
右岸側の工事着手に向けて関係者と「調整中」
- ・「漏水対策」は必要な区間が「完了」

【多々羅川】

- ・河道拡幅を「約180m実施」、護岸・可動堰化が「完了」
橋梁掛替を「実施中」
- ・「水門」の地震・津波対策が「完了」

【全エリア】

- ・施設能力を超える洪水等への対策として、
想定最大規模の「洪水浸水想定区域図」の公表
「徳島県公式LINE」によるPUSH型配信
「防災出前講座・防災パネル展」の開催
「水災害に関する減災会議」を開催
- ・樋門操作の課題解決のため「無動力化」を実施

●河川環境に関する事項

【新町川】

- ・青石による修景護岸等の整備を「約400m実施」
未修景区間を「実施中」

【園瀬川】

- ・河川環境や動植物の生息・生育・繁殖環境の
変化の把握に努め、適切な管理に努める

●河川維持に関する事項

【全エリア】

- ・「除草、樹木伐採」など実施
- ・河川管理施設の「定期点検」を実施

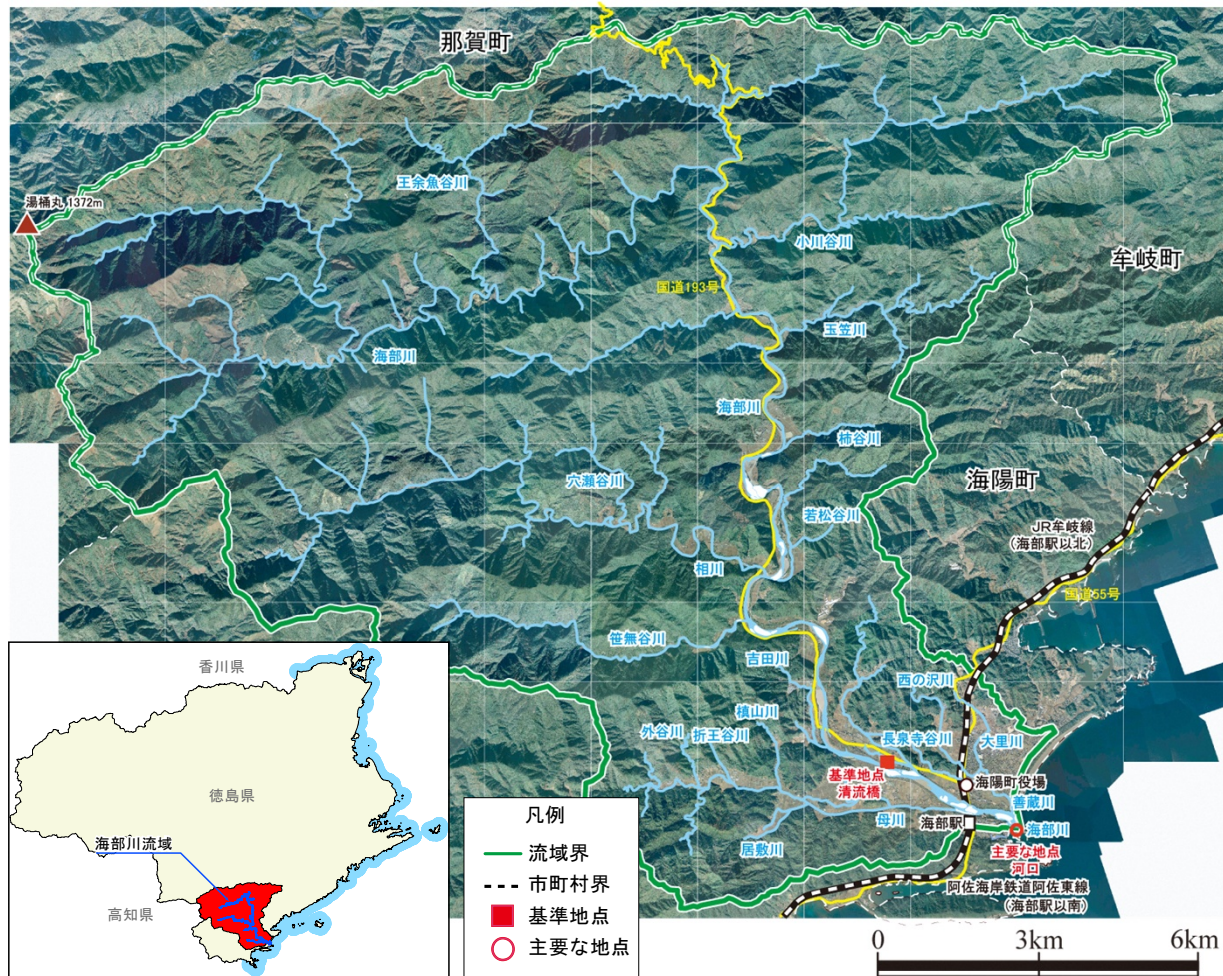
5.2 今後の進め方

園瀬川では、河川整備計画に基づいた整備内容の完了の見通しが
ついてきました。

今後は、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、
流域全体の更なる治水安全度の向上を目的に、流域治水の加速化
等を踏まえ、現河川整備計画の変更に向けた検討を開始します。

－二級河川海部川水系河川整備計画の点検報告について－

1. 流域の概要



二級河川海部川水系河川整備計画
令和3年4月変更（平成27年12月策定）

水系内の河川	: 19河川
総流域面積	: 206km ²
総幹川流路延長	: 36km
流域内市町村	: 海陽町
流域内人口	: 約5千6百人
年平均雨量	: 約3,000mm
流域の主な産業	: 林業、養鶏、園芸等



2. 近年の洪水等による災害の発生の状況

海部川流域の浸水被害

	水害区域面積	被災家屋棟数
平成26年8月洪水 台風第12号・11号及び豪雨	451.0ha	床下浸水 199戸 床上浸水 24戸
令和3年9月洪水豪雨 (線状降水帯)	38.5ha	床下浸水 28戸 床上浸水 13戸

洪水状況



多良地区(H26豪雨)



杉谷地区(R3豪雨)

出典：全国水防管理団体連合会HP

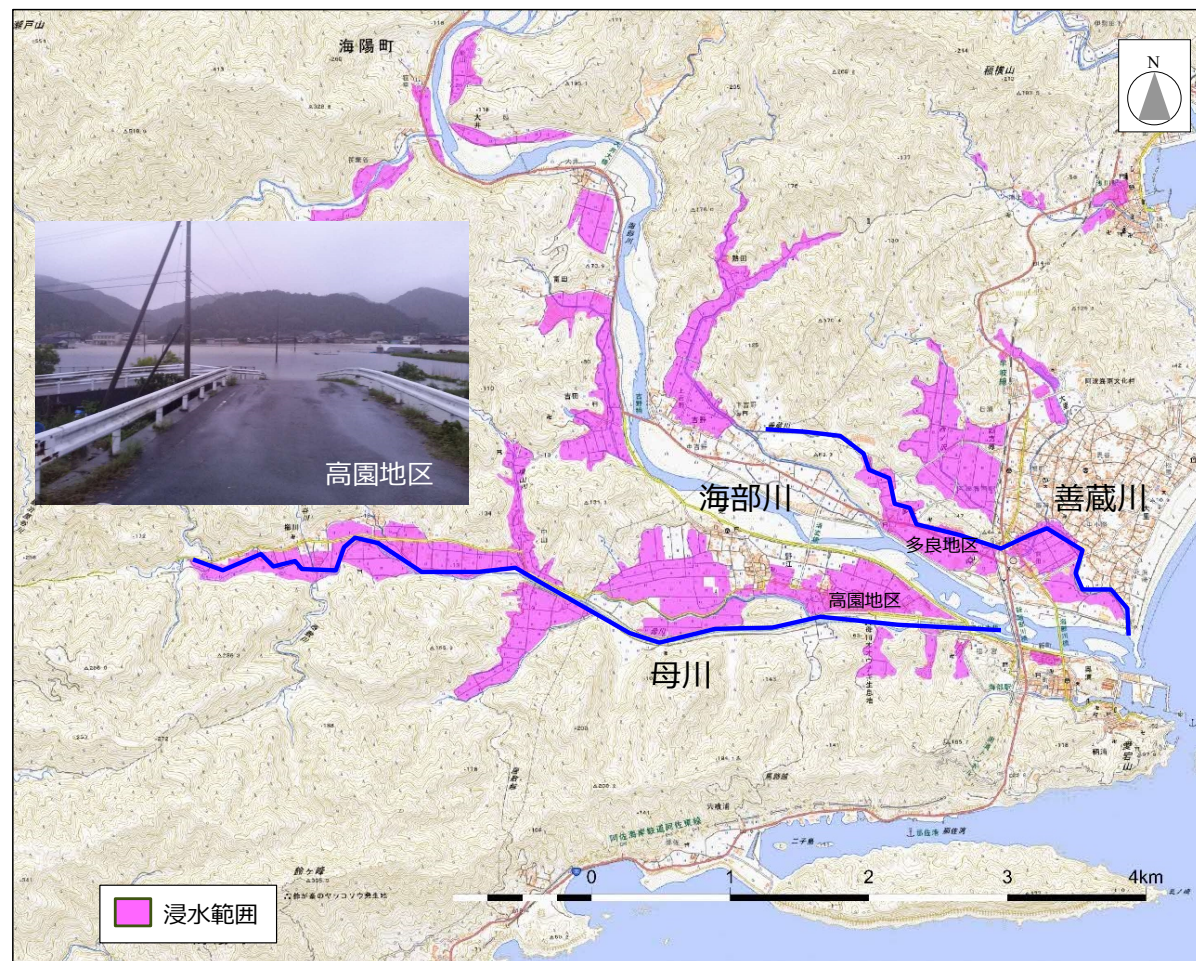
海部川の洪水被害

西暦	和暦	気象原因	河川名	被害状況	出典
1892	明治25/7/25	台風	—	豪雨により保瀬地区で大崩壊が起こり、海部川を堰き止め、寒ヶ瀬一帯が濁流に襲われた。この豪雨による崩壊で埋没4戸、流失8戸、死者47人の被害が発生した。	海南町史
1949	昭和24/8/17	ジュディス台風	—	豪雨によって海部川は大洪水となり、濁流は堤防を越えて氾濫し、新奥中学校地が冠水	海部町史
1950	昭和25/8/6	豪雨（海部川大洪水）	—	家屋全半壊15戸、流出17町余り	海南町史
1950	昭和25/9/3	ジェーン台風	—	海部郡の被害（死者1名、軽傷8名、全壊22棟、半壊153棟、床下浸水598棟、床上浸水212棟）	徳島県自然災害誌
1961	昭和36/9/16	第二室戸台風	—	海部郡の被害（傷者5名、全壊17戸、半壊96戸、床上浸水133棟、全壊流出1棟の被害が発生した。）	徳島県自然災害誌
1965	昭和40/9/10～9/17	台風23、24号	海部川、母川、善蔵川	水害区域面積555ha、被災家屋は床下浸水270棟、床上浸水133棟、全壊流出1棟の被害が発生した。	水害統計
1966	昭和42/10/27	台風21号	母川	水害区域面積83ha、被災家屋は床下浸水13棟、床上浸水3棟の被害が発生した。	水害統計
1968	昭和43/7/28～7/29	台風4号	海部川、善蔵川	水害区域面積105haの被害が発生した。	水害統計
	昭和43/8/28～8/29	台風10号	母川、富田川、善蔵川、新浦	水害区域面積240.8ha、被災家屋は床下浸水20棟の被害が発生した。	水害統計
1970	昭和45/8/13～8/23	台風9、10号及び集中豪雨	海部川、母川	水害区域面積120haの被害が発生した。	水害統計
1971	昭和46/8/27～9/13	台風23、25、26及び梅雨前線豪雨	海部川、母川、富田川、長泉寺谷川、善蔵川	水害区域面積405ha、被災家屋は床下浸水132棟、床上浸水133棟の被害が発生した。	水害統計
1974	昭和49/7/1～7/12	台風8号と豪雨	善蔵川	水害区域面積200haの被害が発生した。	水害統計
	昭和49/8/17～9/10	台風14、16、18号	善蔵川	水害区域面積1haの被害が発生した。	水害統計
1976	昭和51/9/7～9/14	台風17号と豪雨	海部川、善蔵川、母川	水害区域面積188.9ha、被災家屋は床下浸水6棟の被害が発生した。	水害統計
1977	昭和52/5/28～7/21	豪雨	母川	水害区域面積61haの被害が発生した。	水害統計
1988	昭和63/8/9～8/31	豪雨	七川、善蔵川	水害区域面積3ha、被災家屋は床下浸水2棟の被害が発生した。	水害統計
1990	平成2/10/1～10/8	豪雨、台風21号	小川谷川、七川、善蔵川	水害区域面積8ha、被災家屋は床下浸水2棟、床上浸水2棟の被害が発生した。	水害統計
1993	平成5/11/10～11/15	豪雨及び風浪	海部川、王余谷川、七川	水害区域面積27ha、被災家屋は床下浸水10棟、床上浸水1棟の被害が発生した。	水害統計
1998	平成10/5/15～5/17	豪雨	海部川、善蔵川、母川、吉田川、相川	水害区域面積60ha、被災家屋は床下浸水83棟、床上浸水3棟の被害が発生した。	水害統計
2003	平成15/5/27～6/1	台風4号	海部川	水害区域面積80m2、被災家屋は床下浸水1棟の被害が発生した。	水害統計
	平成15/11/27～11/30	豪雨	海部川、善蔵川	水害区域面積1887m2、被災家屋は床下浸水9棟の被害が発生した。	水害統計
2004	平成16/7/29～8/3	台風10号及び豪雨	海部川	水害区域面積1269m2、被災家屋は床下浸水2棟、床上浸水2棟の被害が発生した。	水害統計
2011	平成23/8/25～9/5	台風12号	海部川	水害区域面積1.3ha、被災家屋は床下浸水5棟の被害が発生した。	水害統計
2014	平成26/7/29～8/12	台風12号・11号及び豪雨	海部川	水害区域面積450.99ha、被災家屋は床上24棟、床下浸水199棟の被害が発生した。	水害統計
2015	平成27/7/15～7/23	台風11号及び豪雨	海部川	水害区域面積0.02ha、被災家屋は床下浸水2棟の被害が発生した。	水害統計
2016	平成28/9/17～9/21	台風16号及び豪雨	母川	水害区域面積0.01ha、被災家屋は床下浸水1棟、床上浸水1棟の被害が発生した。	水害統計

善蔵川：大里川、西ノ沢川を含む、母川：居敷川を含む

2. 近年の洪水等による災害の発生の状況

平成26年8月洪水台風第12号の浸水範囲



令和3年9月洪水豪雨（線状降水帯）の浸水範囲

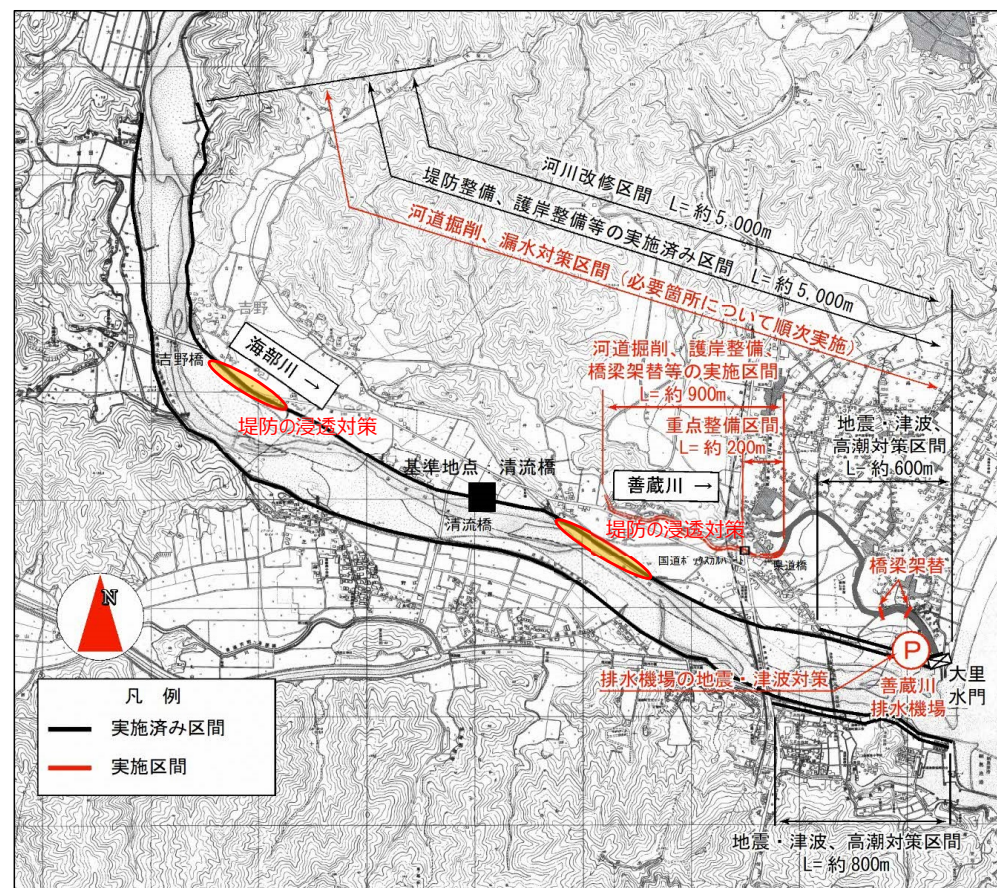


3. 事業の進捗状況

3.1 河川整備計画の主なメニュー

◆河川工事の種類及び施行の場所

河川名	実施区間	実施延長	実施内容
海部川	河口(0K000)～吉田地区(5K000)	約5,000m	河道掘削 堤防の浸透対策
	河口(0K000)～ 国道橋付近(0K800)【完】	左岸：約600m 右岸：約800m	地震・津波、高潮対策
善蔵川	県道橋付近(1K400)～ 町道橋付近(2K300) 重点区間：県道橋付近～ 一般国道55号ボックスカルバート	約900m	河道掘削、護岸整備 橋梁架替等
	善蔵川排水機場、大里水門【完】	—	排水機場の 地震・津波対策



3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等（海部川）

河道掘削・樹木伐採

事業の概要

海部川では、築堤護岸等の河川整備が完了しています。
洪水を安全に流すため、河道掘削及び樹木伐採を計画しています。

実施と達成

H27～R6に、河道掘削（約15万m³）樹木伐採（約12ha）等を実施しています。



今後の予定

必要な流下断面の確保及び向上を目指し、引き続き、必要な対策を実施します。

堤防の浸透対策

事業の概要

漏水が発生しており、氾濫を防止するため、堤防強化を計画しています。

実施と達成

H25～H30に堤防の浸透対策（L=770m）を実施しています。



今後の予定

必要な堤防強化対策（漏水）は完了しています。
今後、堤防漏水が発生した場合、必要な対策を実施します。

3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等（海部川）

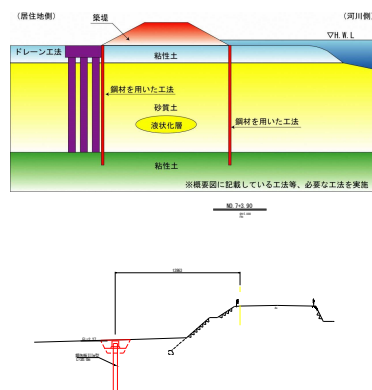
堤防の耐震対策

事業の概要

海部川では、堤防の耐震対策を計画しています。

実施と達成

H26～H29に耐震対策（L=1,400m）を実施しています。



今後の予定

現時点で、必要な堤防の耐震対策は完了しています。
今後、調査や研究を踏まえ、対策を実施します。

3.2 主なメニューの進捗状況等（善蔵川）

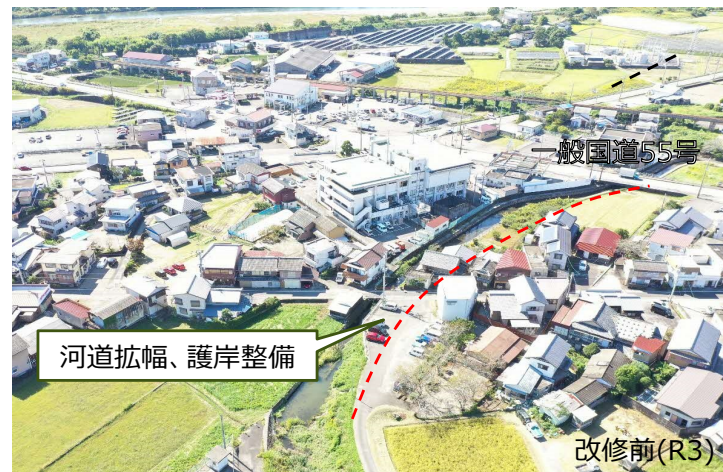
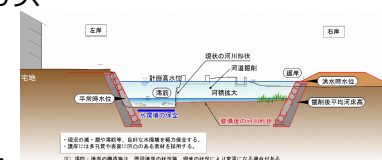
河川改修

事業の概要

善蔵川は、河道が狭小で浸水被害が度々生じており、河道拡幅、護岸整備を計画しております。

実施と達成

R4から河川改修を実施し橋梁を掛替えしております。



今後の予定

未改修区間の河道拡幅・護岸整備を実施します。

3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等

維持管理（1）

事業の概要

堤防や護岸については、洪水、津波、高潮時にその機能が発揮されるように、洗堀、護岸の亀裂といった施設の損傷や劣化等の変状が確認された場合は、必要に応じて補修等の対策を行います。

排水機場や樋門など河川管理施設については、長寿命化計画に基づき、計画的に修繕します。

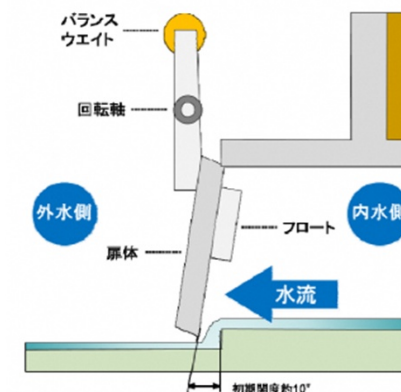
実施と達成

河川管理施設の機能を確保するため、護岸修繕、樋門自動化、排水機場の修繕などを実施しています。

<護岸の修繕（小川谷川）>



<樋門の無動力化>



<排水機場の長寿命化>



今後の予定

あらゆる災害を対象に、河川管理施設の機能が確保できる対策を実施します。

3. 事業の進捗状況

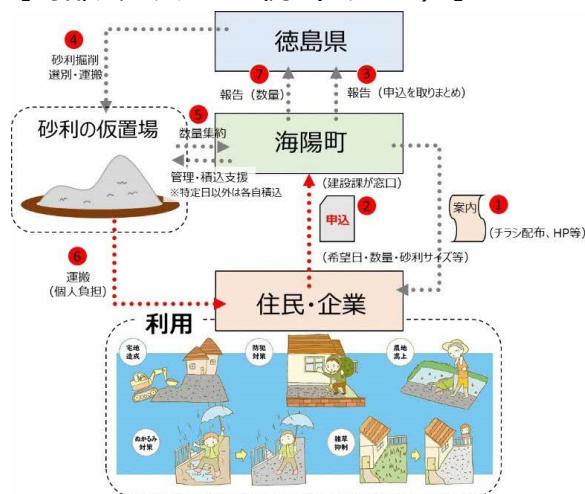
3.2 主なメニューの進捗状況等

維持管理 (2)

事業の概要

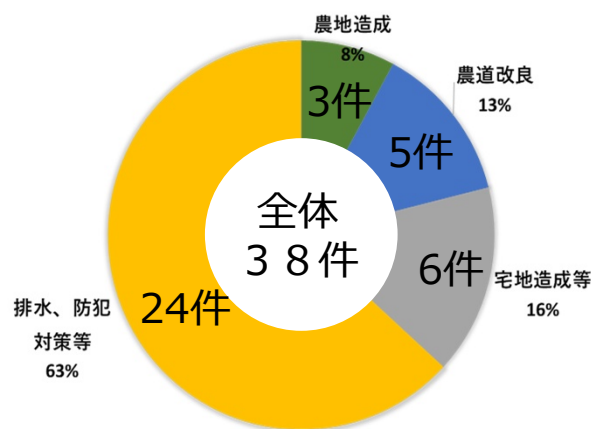
海部川では、異常な砂利堆積に伴う河川管理に係わる様々な課題を解消するため、「海部川モデル」と称した地域住民、民間企業、学識者、行政機関等の連携による堆積砂利対策を実施しています。

【海部川モデルの一例 (Bゾーン)】



実施と達成

H27～R6で河道掘削（約46万m³）を実施しました。



今後の予定

河道状況の変化を把握しながら、継続的に実施しています。

3. 事業の進捗状況

3.2 主なメニューの進捗状況等

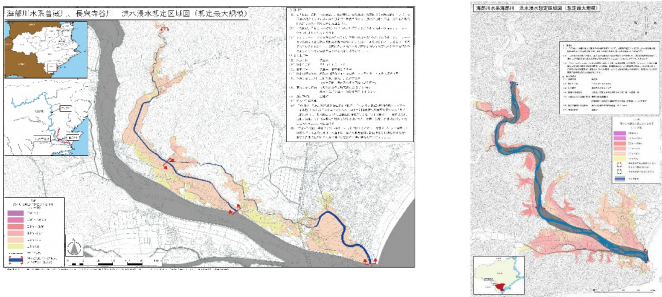
施設能力を超える洪水等への対応

事業の概要

洪水、津波、高潮等による被害の軽減を図るため、防災情報の充実、防災意識の啓発、ハザードマップ作製の支援を行うなどして、緊急時に円滑な水防活動、住民の安全な避難行動が行えるようにします。

実施と達成

<水害リスク情報空白域の解消>



<住民目線に立った情報発信>

徳島県公式LINEによるPUSH型配信



「河川監視カメラ」によりYouTube配信

<防災出前講座の実施>

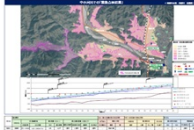


<住民への周知・啓発>



<水災害に関する減災会議>

避難情報を発信する市町村とあらかじめ「避難判断」に関する「防災情報」を互いに共有



今後の予定

流域全体の関係者が協力し合い、浸水被害の軽減を図るための流域治水を推進していきます。

4. 河川整備に関する新たな視点

4.1 流域治水の実践と深化

- 近年の水災害による甚大な被害を受けて、**施設能力を超過する洪水が発生することを前提に**、社会全体で洪水に備える水防災意識社会の再構築を一步進め、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う、**流域治水への転換を推進し**、防災・減災が主流となる社会を目指しています。
- 海部川流域においても、流域治水を推進するため、関係者による流域治水協議会を設立し、**令和3年8月に流域治水プロジェクト**を取りまとめております。
- 気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取り組みを「加速化・深化」に必要な取り組みを反映していく必要があります。
- 特に**海部川**においては、整備計画に示す主な**整備メニューの完了**が近づいています。今後、気候変動に対応した、流域全体で水害の軽減を図る「流域治水」の考えを盛り込んだ**河川整備計画の変更に向けた検討**を行う必要があります。

5. 河川整備計画の点検結果

5.1 実施した整備内容

●治水に関する事項

【海部川】

- ・堤防強化（漏水・耐震）護岸整備は「完了」
- ・河道掘削を「実施中」
- ・海部川モデルにより、堆積砂利を「撤去中」

【善蔵川】

- ・河川拡幅、橋梁掛替を「実施中」

【全エリア】

- ・施設能力を超える洪水等への対策として、
想定最大規模の浸水想定区域図を公表
「徳島県公式LINE」によるPUSH型配信
「防災出前講座・防災パネル展」の開催
「水災害に関する減災会議」を開催
- ・樋門の無動力化を検討

●環境に関する事項

- ・河川環境や動植物の生息・生育・繁殖環境の変化
の把握に努め、適切な管理に努める。

●河川維持に関する事項

【全エリア】

- ・「除草、樹木伐採」など実施
- ・河川管理施設の「定期点検」を実施

5.2 今後の進め方

海部川では、河川整備計画に基づいた整備内容の完了の見通しが
ついてきました。

今後は、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、
流域全体の更なる治水安全度の向上を目的に、流域治水の加速化
等を踏まえ、現河川整備計画の変更に向けた検討を開始します。